



市政報告 No.2

しおかわ

ひで とし
秀敏

略歴

政治経歴…宮若市長一期
福岡県議会議員四期
教育現場…県立高等学校教師(山門高→福岡高→直方高)
地域活動…宮若市・鞍手郡ボランティア連絡協議会相談役
所属学会…自治体学会、日本環境教育学会
家族構成…同居の父・妻(子とも3人・孫8人)
最終学歴…九州大学大学院法学府修了、昭和23年生



しおかわ秀敏の
情報はこちらから

ご挨拶

拝啓、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素の市政へのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

早速ですが、今回の「市政報告No.2」は、**私が取り組みたいこれからの主な事業**を報告させていただきます。
総括的には、**少子高齢化対策と財源基盤の強化を図り『活力ある やさしいまちづくり』の実現**です。(詳しくは次面をご覧ください)

今後も『人権尊重』と『市民目線』・『市民主体』の施政方針の基、皆様に身近な市長として、**『宮若市改革』**に、引き続き、身を捧げる覚悟であります。宜しくお願い申し上げます。 敬具

二期目の主な公約 (詳細は裏面をご覧ください)

- 工業用地造成と企業誘致促進
- 「吉川コミュニティセンター」の建設
- 「ゴミ袋」の値下げ
- 「貝島百合の山荘」の国指定の文化財化
- 「若者の定住」促進
- 地域コミュニティの活性化(自治会・老人会等)
- 「教育環境トップ」の創造
- 東部・西部の観光拠点と観光ルートの整備
- 「若宮小学校跡地」の活用
- 公共交通・道路等のインフラ整備
- 「挨拶一番・親切一番」で、ワンストップの市役所
- 身を切る覚悟(給料3割カット、退職金は公益に)は一期から継続

宮若市改革にはこの経験の底力が必要です



麻生太郎先生

◎政治家(18年)『為せば成る』『念ずれば花開く』の信条

・豊富な人脈…(市長1期・県議4期、国・県への予算要望の力)

◎教育現場(20年)『一人の子どもを粗末にすると、教育は光を失う』という教育理念の実現

・県立高校教師…山門高校→福岡高校→直方高校

・不登校児熟練…不登校児の全寮制塾(フリースクール)

・教育委員会…旧宮田町の教育委員、福岡県同和教育副読本の編集委員

◎地域福祉活動(誰もが住みたい地域、旧宮田町社会福祉協議会の理事・評議員)

・障がい者福祉…3障がい(身体・知的・精神)のサークル活動・ボランティア活動等

・高齢者福祉…介護保険訪問調査委員、独居老人弁当配布、グループホーム

・地域活動…本城公民館館長(9年間)、少年剣道桜雲館館長(40年以上)、保護司(現職、30年以上)

◎政策研究活動(政治家に必要な資質は、情熱・責任感・判断力の三つ(近代社会学の祖マックス・ウェーバー))

・修士論文…九州大学大学院法学府(政治学専攻)修士論文『住民自治による地域経営の理論と手法』

・学会に所属…自治体学会、日本環境教育学会、日本福祉教育・ボランティア学会



教え子からの激励の寄せ書き



剣道 錬士六段

しおかわ秀敏後援会事務所

編集・発行 しおかわ秀敏事務所 ☎823-0003 宮若市本城1355の2 TEL.0949-33-4704 FAX.0949-34-7381

本部: ☎823-0003 宮若市本城1355-2
TEL 0949-33-4704 / FAX 0949-34-7381
長井鶴事務所: ☎823-0012 宮若市長井鶴424-1(ローソン長井鶴店 横)
TEL 0949-28-8848 / FAX 0949-28-8868

しおかわ秀敏の宮若市改革！ 更に次へ！！ これからの主な事業

○交通アクセスの整備

- ・若宮インター周辺と市内道路等のインフラ整備
- ・自動運転の実証実験（スマートインター活用）
- ・「新幹線駅」建設可能性調査（福岡・北九州へ8分、通勤・通学・物流拠点として最適、宮若市の玄関創設）

○産業振興と財政基盤

- ・北部工業用地の早期造成と周辺インフラ整備による企業誘致
- ・工業団地適地調査の活用や民間工業団地開発による企業誘致支援（四郎丸地区、ノリタケ跡地、他）
- ・農業振興（後継者・耕作放棄地対策、基盤整備の推進、みやわかじまんのブランド化・ドリームホープ等直売所との連携）
- ・ふるさと納税の増額（返礼品の開発と情報発信の改善）

○若者に魅力的な定住促進

- ・住宅団地の造成と住宅取得補助（県内最高の300万円）
- ・子育て費用の無償化（保育料・給食費・高校生までの医療費）
- ・子どもの遊び場の拡充、グランピング環境整備（子育て世代が家族連れで楽しめる環境づくり）
- ・景勝地「千石峡」の整備（恐竜ワキノサウルス像の設置、フォレストアドベンチャー キャンプ場等）

○人で賑わう観光振興

- ・西部観光拠点の整備（脇田温泉・みやわかの郷・ドリームホープ・宮若温泉郷・西鞍の丘・清水寺・トレッジ等の拠点）
- ・東部観光拠点の整備（貝島百合野山荘・石炭記念館を活用した田川・飯塚・直方との連携観光ルートの創設）
- ・「TEAM宮若じまん」の情報発信機能の充実（観光・イベント情報の発信による観光入込客150万人以上）
- ・宮若市生活センター（民芸庵）改築（竹原古墳受付・売店、追い出し猫制作拠点、障がい者福祉施設）

○活力創造の人材活用

- ・まちづくり推進協議会の創設（J A・商工会議所・商工会・企業交流会・包括協定締結事業所・大学・市民・有識者等）
- ・国の人材派遣制度の積極的活用（「地域おこし協力隊」等）

活力あるまち

やさしいまち

○健康長寿日本一のまち（「ウエルビーイング」のまち）

- ・フレイルとロコモ予防の徹底（栄養・運動・社会参加の啓発）
- ・スポーツの振興（総合体育館の整備、体育協会やスポーツ団体等の支援、直鞍一周駅伝の再興）
- ・ウンヘルスの啓発と推進（環境・動物・人間の共生）

○教育環境トップのまち（一人の子を粗末にすると教育は光を失う教育理念の実践）

- ・子ども家庭総合支援の充実（妊娠期～18歳未満まで、切れ目ない子育てサポート）
- ・幼・小・中学校教育の充実（宮若市で子供の教育をしたい、宮若市で先生をしたいと保護者や先生から選ばれる教育環境）
- ・学童保育と放課後子ども教室の一体化・地域と学校の連携・協働の構築
- ・生涯学習の推進と人材活用（趣味、スポーツ、ボランティア、文化活動など）
- ・男女共同参画、人権教育、啓発の推進（部落差別、アンコンシャスバイアス等の解消促進）

○優しいコミュニティのまち（誰もが安心して住める絆の地域社会）

- ・地域コミュニティの活性化（災害互助、子育て・高齢者・障がい者・外国人との共生・伝統文化継承等の生活基盤）
- ・「吉川コミュニティセンター」の建設・「若宮小学校跡地」の活用
- ・「ゴミ袋」の値下げ・自治会活動への助成（50万円を上限に自治会で行う事業予算の50%を補助）
- ・ライドシェア（ドア・ツー・ドア）の実施（高齢者や障がい者等の外出・買い物・通院の不自由解消）

○災害に安全・安心なまち（自助↓共助↓公助の啓発）

- ・内水対策（金丸の床上浸水地域や冠水地域の対策強化）
- ・外水対策（犬鳴川・八木山川の浚渫）※令和7年8月豪雨災害で、国へ河川浚渫費用を要望、国の予算4億1千万円が決定）
- ・防災意識の啓発と訓練（自主防災組織、災害対策本部・災害ボランティアセンター立ち上げ等の実施訓練）

○誇りあるふるさととのまち（郷土の偉人顕彰と歴史・伝統・文化財の保存と継承）

- ・「貝島百合野山荘」の国指定文化財化・「文化財指定基本方針」の改定
- ・地域の伝統・文化・芸術等の保存と継承支援、放生会・祇園山笠・文化連盟（文化サークル等）の支援、芸術作品展示場の創設等）
- ・姉妹都市の提携（国内外）

行財政改革

行政運営の効率化
健全な財政基盤の確立
効率的な住民サービス

広域連携の推進

宮若市自治基本条例